

## 議案第 2 1 号

杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  
上記の議案を提出する。

平成 3 1 年 2 月 1 2 日

提出者 杉並区長 田 中 良

杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  
第 1 条 杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例（平成 1 2 年杉並区条例第 1 7 号）の一部を次のように改正する。

第 1 0 条中「をすることを命ずることができる。ただし」を「（以下「超過勤務」という。）をすることを命ずることができる。ただし」に、「同条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規定する断続的な勤務以外の勤務」を「超過勤務」に改め、同条に次の 1 項を加える。

2 超過勤務に関しその上限時間その他の必要な事項は、人事委員会の承認を得て、教育委員会規則で定める。

第 1 1 条の 2 第 1 項中「第 1 0 条に規定する勤務（以下「超過勤務」という。）」を「超過勤務」に改める。

第 2 条 杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例（平成 1 9 年杉並区条例第 1 0 号）の一部を次のように改正する。

第 1 0 条中「をすることを命ずることができる。ただし」を「（以下「超過勤務」という。）をすることを命ずることができる。ただし」に、「同条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規定する断続的な勤務以外の勤務」を「超過勤務」に改め、同条に次の 1 項を加える。

2 超過勤務に関しその上限時間その他の必要な事項は、人事委員会の承認を得て、教育委員会規則で定める。

第 1 1 条の 2 第 1 項中「第 1 0 条に規定する勤務（以下「超過勤務」という。）」を「超過勤務」に改める。

## 附 則

- 1 この条例は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例（平成12年杉並区条例第18号）の一部を次のように改正する。

第20条第1項中「第10条」を「第10条第1項」に改める。
- 3 杉並区幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例（平成12年杉並区条例第19号）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中「第10条に規定する勤務」を「第10条第1項に規定する超過勤務」に改める。
- 4 杉並区学校教育職員の給与に関する条例（平成19年杉並区条例第11号）の一部を次のように改正する。

第22条第1項中「第10条」を「第10条第1項」に改める。
- 5 杉並区学校教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例（平成19年杉並区条例第12号）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中「第10条に規定する勤務」を「第10条第1項に規定する超過勤務」に改める。

### （提案理由）

超過勤務における上限時間等に関する事項を定める必要がある。

杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

第1条による改正（杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正）

新 条 例	旧 条 例
<p>(超過勤務)</p> <p>第10条 教育委員会は、公務のため臨時又は緊急の必要がある場合には、職員に対し、前条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規定する断続的な勤務以外の勤務（以下「<u>超過勤務</u>」という。）をすることを命ずることができる。ただし、当該職員が育児短時間勤務職員等である場合にあっては、公務の運営に著しい支障が生ずると認められる場合として人事委員会の承認を得て教育委員会規則で定める場合に限り、<u>超過勤務</u></p> <hr/> <p>をすることを命ずることができる。</p> <p>2 <u>超過勤務に関しその上限時間その他の必要な事項は、人事委員会の承認を得て、教育委員会規則で定める。</u></p> <p>(3歳に満たない子の育児又は要介護者の介護を行う職員の超過勤務の制限)</p>	<p>(超過勤務)</p> <p>第10条 教育委員会は、公務のため臨時又は緊急の必要がある場合には、職員に対し、前条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規定する断続的な勤務以外の勤務<u>をすることを命ずることができる。ただし</u></p> <hr/> <p>、当該職員が育児短時間勤務職員等である場合にあっては、公務の運営に著しい支障が生ずると認められる場合として人事委員会の承認を得て教育委員会規則で定める場合に限り、<u>同条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規定する断続的な勤務以外の勤務</u>をすることを命ずることができる。</p> <p>(3歳に満たない子の育児又は要介護者の介護を行う職員の超過勤務の制限)</p>

第11条の2 教育委員会は、3歳に満たない子のある職員が当該子を養育するために請求した場合には、職務に支障がある場合を除き、超過勤務

\_\_\_\_\_をさせてはならない。ただし、災害その他避けることのできない事由に基づく臨時の勤務の必要がある場合は、この限りでない。

2及び3 略

第11条の2 教育委員会は、3歳に満たない子のある職員が当該子を養育するために請求した場合には、職務に支障がある場合を除き、第10条に規定する勤務（以下「超過勤務」という。）をさせてはならない。ただし、災害その他避けることのできない事由に基づく臨時の勤務の必要がある場合は、この限りでない。

\_\_\_\_\_をさせてはならない。ただし、災害その他避けることのできない事由に基づく臨時の勤務の必要がある場合は、この限りでない。

2及び3 略

第2条による改正（杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正）

新 条 例	旧 条 例
<p>(超過勤務)</p> <p>第10条 教育委員会は、公務のため臨時又は緊急の必要がある場合には、職員に対し、前条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規定する断続的な勤務以外の勤務（以下「<u>超過勤務</u>」という。）をすることを命ずることができる。ただし、当該職員が育児短時間勤務職員等である場合にあっては、公務の運営に著しい支障が生ずると認められる場合として人事委員会の承認を得て教育委員会規則で定める場合に限り、<u>超過勤務</u></p>	<p>(超過勤務)</p> <p>第10条 教育委員会は、公務のため臨時又は緊急の必要がある場合には、職員に対し、前条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規定する断続的な勤務以外の勤務<u>をすることを命ずることができる。ただし</u> _____、当該職員が育児短時間勤務職員等である場合にあっては、公務の運営に著しい支障が生ずると認められる場合として人事委員会の承認を得て教育委員会規則で定める場合に限り、<u>同条に規定する正規の勤務時間以外の時間において同条に規</u></p>

\_\_\_\_\_をする  
ことを命ずることができる。

2 超過勤務に関しその上限時間その他の  
必要な事項は、人事委員会の承認を  
得て、教育委員会規則で定める。

(3歳に満たない子の育児又は要介護者  
の介護を行う職員の超過勤務の制限)

第11条の2 教育委員会は、3歳に満  
たない子を養育する職員が当該子を養  
育するために請求した場合には、公務  
運営に支障がある場合を除き、超過勤  
務  
\_\_\_\_\_をさせてはならない。ただ  
し、災害その他避けることのできない  
事由に基づく臨時の勤務の必要がある  
場合は、この限りでない。

2及び3 略

定する断続的な勤務以外の勤務をする  
ことを命ずることができる。

(3歳に満たない子の育児又は要介護者  
の介護を行う職員の超過勤務の制限)

第11条の2 教育委員会は、3歳に満  
たない子を養育する職員が当該子を養  
育するために請求した場合には、公務  
運営に支障がある場合を除き、第10  
条に規定する勤務（以下「超過勤務」  
という。）をさせてはならない。ただ  
し、災害その他避けることのできない  
事由に基づく臨時の勤務の必要がある  
場合は、この限りでない。

2及び3 略

附則第2項による改正（杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部改正）

新 条 例	旧 条 例
<p>(超過勤務手当)</p> <p>第20条 正規の勤務時間を超えて勤務 時間条例<u>第10条第1項</u>の規定により 勤務することを命ぜられた職員には、 正規の勤務時間を超えて勤務した全時 間に対して、勤務1時間につき、第2 2条に規定する勤務1時間当たりの給 与額に正規の勤務時間を超えてした勤</p>	<p>(超過勤務手当)</p> <p>第20条 正規の勤務時間を超えて勤務 時間条例<u>第10条</u>の規定により 勤務することを命ぜられた職員には、 正規の勤務時間を超えて勤務した全時 間に対して、勤務1時間につき、第2 2条に規定する勤務1時間当たりの給 与額に正規の勤務時間を超えてした勤</p>

務の区分に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内の割合（その勤務が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、その割合に100分の25を加算した割合）を乗じて得た額を超過勤務手当として支給する。

2～7 略

務の区分に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内の割合（その勤務が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、その割合に100分の25を加算した割合）を乗じて得た額を超過勤務手当として支給する。

2～7 略

附則第3項による改正（杉並区幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する  
条例の一部改正）

新 条 例	旧 条 例
<p>（職員の超過勤務及び休日勤務）</p> <p>第5条 職員については、原則として、超過勤務（杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例（平成12年杉並区条例第17号。以下「勤務時間条例」という。）<u>第10条第1項に規定する超過勤務</u>をいう。次項において同じ。）及び休日勤務（勤務時間条例第12条及び第13条の規定による休日並びに勤務時間条例第14条第1項の規定により指定された代休日における勤務をいう。次項において同じ。）はさせないものとする。</p> <p>2 略</p>	<p>（職員の超過勤務及び休日勤務）</p> <p>第5条 職員については、原則として、超過勤務（杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例（平成12年杉並区条例第17号。以下「勤務時間条例」という。）<u>第10条に規定する勤務</u>をいう。次項において同じ。）及び休日勤務（勤務時間条例第12条及び第13条の規定による休日並びに勤務時間条例第14条第1項の規定により指定された代休日における勤務をいう。次項において同じ。）はさせないものとする。</p> <p>2 略</p>

附則第4項による改正（杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部改正）

新 条 例	旧 条 例
<p>（超過勤務手当）</p> <p>第22条 正規の勤務時間を超えて勤務時間条例第10条第1項の規定により勤務することを命ぜられた職員には、正規の勤務時間を超えて勤務した全時間に対して、勤務1時間につき、第24条に規定する勤務1時間当たりの給与額に正規の勤務時間を超えてした勤務の区分に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内の割合（その勤務が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、その割合に100分の25を加算した割合）を乗じて得た額を超過勤務手当として支給する。</p> <p>2～7 略</p>	<p>（超過勤務手当）</p> <p>第22条 正規の勤務時間を超えて勤務時間条例第10条の規定により勤務することを命ぜられた職員には、正規の勤務時間を超えて勤務した全時間に対して、勤務1時間につき、第24条に規定する勤務1時間当たりの給与額に正規の勤務時間を超えてした勤務の区分に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内の割合（その勤務が午後10時から翌日の午前5時までの間である場合は、その割合に100分の25を加算した割合）を乗じて得た額を超過勤務手当として支給する。</p> <p>2～7 略</p>

附則第5項による改正（杉並区学校教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部改正）

新 条 例	旧 条 例
<p>（職員の超過勤務及び休日勤務）</p> <p>第5条 職員については、原則として、超過勤務（杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例（平成19年杉並区条例第10号。以下</p>	<p>（職員の超過勤務及び休日勤務）</p> <p>第5条 職員については、原則として、超過勤務（杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例（平成19年杉並区条例第10号。以下</p>

「勤務時間条例」という。) 第10条  
第1項に規定する超過勤務をいう。次  
項において同じ。) 及び休日勤務(勤  
務時間条例第13条及び第14条の規  
定による休日並びに勤務時間条例第1  
5条第1項の規定により指定された代  
休日における勤務をいう。次項におい  
て同じ。) はさせないものとする。

2 略

「勤務時間条例」という。) 第10条  
に規定する勤務 \_\_\_\_\_ をいう。次  
項において同じ。) 及び休日勤務(勤  
務時間条例第13条及び第14条の規  
定による休日並びに勤務時間条例第1  
5条第1項の規定により指定された代  
休日における勤務をいう。次項におい  
て同じ。) はさせないものとする。

2 略